

水辺活動

プログラム名(コース名)	ういてまて			
概要	自分の命を守るためにどのような対処をしたらよいかを座学と体験を通して学ぶ。			
ねらい	「ういてまて」を合言葉に自己保全の方法や陸上からの救助方法を学ぶことができる。			
条件	対象	幼児以上	人数(指導者人数)	～40人(4人以上)
	活動時間	120～150分	活動時期	6～10月
	活動場所	艇庫・ハーバー	費用	不要
	下見	要	活動名簿提出	不要
持ち物・準備	(個人)濡れてもよい服装(長袖、長ズボン)、靴(サンダル、クロックスタイプは不可) 水着、水泳帽、ゴーグル、タオル、着替え (貸出)ライフジャケット、ペットボトル			
安全上の留意点 (対策方法)	転倒(事前の注意喚起) 自然災害(事前に気象状況の把握) 貝殻、生物等による怪我(事前の注意喚起、長袖・長ズボンの着用を徹底) 溺水(体調が悪い場合は水の中に入らない)			
<b>活動内容(手順)</b>				
<p>事前 ①指導者配置:所定の&lt;&lt;活動プログラム時の団体指導者の役割分担表&gt;&gt;を作成、提出</p> <p>②パティ編成:2人1組のパティを決定</p> <p>③下見の実施:活動エリア状況と安全把握。</p> <p>④研修生への事前指導:「概要」「ねらい」「安全上の留意点」等を指導、服装や持ち物を確認</p>				
<p>活動前 ①打合せ(活動10分前):事務室前で所員と団体責任者・担当指導者にて実施</p> <p>実施判断:気象を基に、協議の上決定</p> <p>確認事項:人数、健康状態、貸出備品</p>				
<p>活動 ①指導:所員より</p> <p>②活動開始:座学・・・水辺の事故の現状、ういてまての意味、水辺で遊ぶ際の心構え等 実技・・・背浮き、陸上からの救助方法、ライフジャケットの活用等</p> <p>③振り返り:活動の感想を発表</p> <p>④確認事項:人数、健康状態</p> <p>⑤片付け:備品の返却(ライフジャケットは水洗い)と確認</p> <p>⑥着替え:艇庫2Fのシャワー室を使用</p>				

<その他>

- 座学のみ実施も可能
- 実技については、年齢に応じて活動方法、活動場所の変更有(容相談)